

実装プロジェクトⅠ期の目的・事業内容

目的：東京都において空飛ぶクルマを活用した移動サービス（VP運営等含む）の実現に向け、当該事業展開を見込む事業者と都が連携し、**商用運航を目指す**

事業内容：2地点間移動・遊覧飛行を実現する運航サービス

審査の方法

- 「目的適合性」、「実現可能性」、「将来性」などを含む、7つの観点から**外部有識者等による審査**を実施
- 都の取組方針との整合、**商用運航に向けた実現可能性、将来性**などを総合的に判断し、**2つのコンソーシアムを採択**

① 日本航空株式会社を代表事業者とするコンソーシアム

連携事業者：株式会社Soracle、住友商事株式会社、日本電気株式会社
日本空港ビルディング株式会社、大成建設株式会社、
株式会社日本空港コンサルタント、オリックス株式会社、京王電鉄株式会社



② 野村不動産株式会社を代表事業者とするコンソーシアム

連携事業者：ANAホールディングス株式会社、株式会社SkyDrive、
東日本旅客鉄道株式会社、エアロトヨタ株式会社、
株式会社西武ホールディングス、株式会社日建設計



今後のプロジェクトの展開

- 2030年の市街地での展開に向け、**民間主体移行への足掛かり**として、Ⅰ期のプロジェクトを実施
- Ⅰ期では、臨海部エリア、河川上エリアで2026年度や2027年度に数週間から数カ月程度の飛行を想定
 - **臨海部での飛行、空港アクセス実現に向けた多摩川での飛行**について、検討・調整
 - ⇒ 場所等、詳細が決まり次第、別途公表

想定事業エリア及び飛行イメージ

